

なごやか地域福祉ニュース

第1号（H25. 12）名古屋市地域福祉に関する計画策定事務局

平成17年に策定された名古屋市地域福祉計画「わたしたちが創る なごやか地域福祉2005」に続く新たな地域福祉に関する計画の策定作業を今年度開始しました。今回の地域福祉計画は、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会の「地域福祉推進計画」と一体的に策定を行います。

「なごやか地域福祉ニュース」では、計画の基本情報や策定の取り組み状況などを紹介していきます。



Q なぜ、地域福祉に関する計画を策定するのですか？

“地域のつながり”の希薄化が問題視されてきましたが、昨今では高齢者等の『孤立』という社会問題として顕在化しています。各地域・家庭そして、個々人が抱えるニーズへの細やかな対応は、公的な支援のみでは限界があり、地域で気づき、地域で考え、地域が動く、地域福祉の展開が不可欠と言えます。

この計画は、生活の場である「地域」に着目し、住民・民間団体と行政がこれから取り組む“協働”の方向性を示すものとして、市民や関係団体等の意見を取り入れながら策定します。

Q なぜ、名古屋市社会福祉協議会（市社協）と一体策定するのですか？

まず、市社協は、社会福祉法第109条において、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体とされ、市民参加による市内全域での地域福祉実践の蓄積と、多様なネットワークを有し、団体・事業者等から構成される協議体です。また、16区の各区社協では、市民参加型の「地域福祉活動計画」を策定しており、これと市社協の「地域福祉推進計画」とは、密接な関係にあることから、本計画がより市民の意見を取り入れた、実効性のある「地域福祉に関する計画」となるよう協働して策定を進めるものです。



策定の経過（ダイジェスト）

策定委員会（平成25年8月26日午後2時から）



講演 日本福祉大学 小松 理佐子 教授
「最近の地域福祉を取り巻く状況について」

議題

- 会長及び職務代理者の選任
- 現行計画の確認
- 策定方針、体制及びスケジュールの確認



専門部会（平成25年9月24日午後2時から）

議論となった主な地域福祉の課題テーマ

- 地域で活動する福祉人材の養成
- 地域活動と市民活動団体の結びつき
- 地域活動と市のサービスの結びつき
- 地域の相談窓口のあり方
- 防災における平常時のあり方

人材を地域活動に結び付ける方策。



幹事会及びワーキンググループ（随時）



検討の内容と体制

○名古屋市と名古屋市社会福祉協議会の合同により、幹事会とワーキンググループを開催して、地域福祉に関する課題を出し合っています。

参加部局等 市民経済局、健康福祉局、子ども青少年局、住宅都市局、消防局、市・区社会福祉協議会



今後のスケジュール



11月から12月 地域福祉に関する団体向けアンケートの実施、専門部会委員の現地視察

地域活動の実践例を募集しています！

地域のつながりが薄れつつある昨今ですが、「わたしの地域では、この活動によって地域の絆が深まっています！」「NPOや地元企業等と協働しています。」といった貴方の地域の活動をこのニュースに掲載しませんか。オール名古屋市で知恵を出し合いましょう。

【応募】『担当者名、連絡先、活動の内容がわかるもの』をページ下段の【編集・発行】まで、メール又はFAXでお送りください。 a2548@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 Tel 052-972-2547 / Fax 052-955-3367